

第2回ふれあい懇談会懇談要旨

- 開催日時 平成29年11月19日（日） 10時～12時
- 開催場所 天王台北近隣センター
- 参加者 14名
- 出席者 星野市長、川村総務部長、大畑企画財政部長、四家市民生活部長、
渡辺環境経済部長、大谷建設部長、渡辺都市部長、他管理職10人
- 懇談要旨

市民：私は87歳です。今年の6月に運転免許証を自主返納いたしました。そこで我孫子市では75歳以上の運転者の方は何人いるのでしょうか。次に我孫子市の人件費について柏市より3%～5%多いので、我孫子市の人件費を5%ぐらい削減してはいかがでしょうか。それともう一点ですが、昨年、千葉銀行の入口付近で10万円の現金が入った袋を拾い、千葉銀行に渡しました。お礼の電話を待っていたのですが電話がなく、私の方から千葉銀行に電話したところ、すでに落とされたお客様にお返ししたと言っていて、落とされた方は夫婦で相談して、拾った方には電話しないと判断されたようです。お礼の電話1本ぐらいほしいと思いました。皆様はどうお考えになりますか。

建設部長：警察に確認したところ、昨年度までで市内で免許証を保有している75歳以上の方は、5,684名です。ちなみに、県内ですと約400万人の方が免許証を保有しております。その内で75歳以上の方は23万人いらっしゃいます。

市長：自主返納しますと、これまでの生活が変わってきます。「踏ん切りがつかなくなるので、市でも後押ししてほしい。」ということで、警察、バス・タクシー会社と負担割合について協議しました。負担については、市もバス・タクシー会社もそれぞれ負担をしていただいて、この制度を行っているということです。

運転が不安になりましたら、この制度をご活用いただければと思います。

人件費につきましては、人事院勧告を尊重しています。

遺失物につきましては、市では警察に届けています。取り扱いは警察ですので、意見は差し控えさせていただきます。今回の対応は個人情報関係などあったのかと思いますが、銀行の対応方法としてほかの方法があったのではと思います。

市民：行政サービス・効率の点で、本日出席している管理職の皆さんすべて男性ですが、私はぜひ女性を管理職とするような流れを市長にしてもらいたいと思います。

もう一点は、我孫子市のラスパイレス指数はどうなっているのか教えてください。

総務部長：ラスパイレス指数については、11月16日号の広報で近隣市を含めて3か年分を公表いたしました。28年度が最新の情報ですが、我孫子市：101.1、柏市：101.9、流山市：101.4、鎌ヶ谷市：101.4、野田市：99.9、松戸市：103.5、といった状況です。県内の市での順位は31市中17位です。我孫子市としては、限りなく100に近づけたいと思っています。

市長：ラスパイレス指数につきましては、毎年100を目指して調整しております。その際、給与水準が安くなることでの弊害もありますので、いろいろ配慮しながら調整していきたいと思っています。

女性の管理職は20%を目標にしております。我孫子市の職員採用で過去に数年女性職員採用しなかった時期がありました。今後は積極的に管理職試験を受けていただくよう進めていきます。

市民：今の説明で、何年か経験したから試験を受けられるということ、そのことが女性を差別しているのではないかと思います。

市長：男女関係なく各職場で経験を積んでいただき、昇格していくことで管理職試験を受けていただく。そこは男女の差別は関係無いものです。

市民：まず、下水道工事についてですが、我々の地区は最近浄化槽の工事をしました。今後下水の工事がどうなるのかいつ頃かなど心配であるとの話が出ています。予定が全く分からないので、ぜひ見えるような計画を出していただきたい。

二点目として、現在、防災マップを作成中ということですが、その中に避難所として川村学園が入っていません。第2小学校と中央学院高校ですが、高校までは遠すぎて大変だといった声があります。

三点目として、ダイヤ改正がありますがJR天王台駅と我孫子駅の利用者の利便性を全く考えていないと思えますが、市としてはどのように考えてますか。

建設部長：川村学園の南側地区の下水道につきましては、やらなければならない地区といった認識は持っていますが、予算との兼ね合いもありますので、国の交付

金を多くもらい整備を進めていきたいと思っておりますが、市内での整備依頼は多くいただいていることなどから、具体的に計画時期を何年度と今はまだお示しできません。

市民：接続距離が数十メートルしかありませんので、よろしくお願ひします。

市民生活部長：避難所の件ですが、確かに川村学園は指定しておりません。国交省で示されました、利根川が破堤・破水した場合5m以上水が入ることや水が引いていくのに時間がかかるということが考えられます。ただ、地震など水害と関係のない災害時には近くの公園や場合によっては、川村学園に一時避難することはあるのかなと思ひますので、持ち帰らせていただひて確認したいと思ひます。

企画財政部長：常磐線の特別快速の停車は実現しておりませんが、今年10月14日のダイヤ改正では、上野東京ラインの増発分がすべて常磐線に割り振られていりますので、これまでの要望について一定の成果があつたと思ひます。こういった要望は、市だけでなく市民の皆様の声を直接JRに伝えていくことで、強い要望となります。JR東日本のHPにはお客様の声というところがありますので、そちらの方から意見を出していただひて、市とともに要望していきたくと思ひますので、よろしくお願ひします。

市長：川村学園女子大学とは、いろいろなことで協力をいただひているところです。

ご意見のように緊急時に避難所として受け入れが可能なのかについて、確認させていただきたいと思ひます。

常磐線については、10月のダイヤ改正時に上野東京ラインに乗り入れている宇都宮・高崎線ではなく、常磐線に増発していただきました。常磐快速はTXの影響で我孫子・天王台の利用客が減ってきています。JRとしては、利用者の方の声は聞いていないということをよく言われています。先程、企画部長が言ったように、ぜひ、利用者である皆さんの考えや意見をJRに届けてください。

市民：社会福祉協議会の会議に出席していた時に気が付いたことですが、会議の出席者は多かつたのですが、その中で意見を言う人が2～3人ぐらいしかいなかったため、その委員会の人数を20人程度に変えるなどしました。高齢者の認知症の人が数年で現在より約2,000人増えるといわれています、調べたところ、

一人当たり年間約150万円かかりますが、どのように考えていますか。

行政についての質問を職員にしたところ、上司に話しておきますといったまま、回答がない状況があります。どうなっているのか。

市長：社会福祉協議会は、市内幅広く多くの方に出席していただき、情報を知っていただきたいことから実施しています。しかし、ご意見のとおり、多くの方の意見は必要ですが、実際発表している方は少ないです。手法などを変えることも出来ると思いますので、考えていきたいと思えます。

介護保険に係る費用については、認知症の方だけではなく高齢化が進んでいきますと増えていくと思っています。健康寿命延伸のため行政だけではなく、個人の皆さんにも考えていただき、実行していく必要があると思っています。

行政サービスについてですが、いろいろな意見がありましたら、市政の手紙を頂き、その中で協議させていただきます。市民の皆さんの声を直接聞く機会の少ない部署であって、市の方針を決めていく総務部長や企画財政部長も、このふれあい懇談会に年2回ですが出席させていただきます、直接意見を聞いたり雰囲気を経験しています。

市民：我孫子市観光も一つの目玉だと思います。

しかし、ゴミ置き場が充実していない為、カラスがゴミを引きちぎったりして散らかっています。北海道のある観光市ではゴミが落ちてなく、きれいになっていました。

ぜひ、我孫子市でもゴミの散乱がなくなるよう、勉強してもらいたい。

市長：我孫子市の観光の特徴は、日帰り観光と思っています。手賀沼周辺で鳥の博物館や、遊歩道の散歩、ジョギングなども増えています。

地域会議の中で課題として出てくるのが、高齢者の見守り・ゴミ問題・防犯防災の3つの課題は必ず出てきています。

天王台南地区の地域会議では、カラスによるゴミ問題について取り組み、実際に効果を上げている方法があります。他の自治会や地域会議へも市民活動支援課より情報提供をして、やってみようとしている自治会も出てきました、ぜひ検討してみてください。

市民：昨日天王台6丁目の治水対策についての説明会がありました。平成23年度

から始まり、これまでの経過や今後の計画の話をいただきました。その会の中で出た住民の意見について、よろしくお願いします。

また、すでに文書で出してあります要望書につきましても回答がまだですが、確認の上、実施いただけますようよろしくお願いします。

建設部長：要望のありました側溝につきましては、明日現地を確認させていただきます。早めに対応できること、時間がかかることなど見極めたうえで、自治会さんに報告したいと思います。

市長：昨日の説明会での内容・意見は担当課より報告を聞いています。なかなか予算上でも厳しい状況です。天王台地区も含めて、各地域の整備が遅れていることは認識しております。毎年予算の時期には、全体事業の中で優先順位をどうするかなど検討をしております。ご理解いただきますよう、よろしくお願いします。

市民：一人暮らしで身寄りのない方が亡くなった場合どうなるのか不安だという話をよく聞きます。最近TVで葬祭業者や社会福祉協議会も関わってと思いますが、あらかじめお金を預けておくことで、将来の行き先をはっきりさせておくことを取り上げていました。我孫子市でも高齢化が進む今、検討したらいかがだと思います。

市長：我孫子市でも身寄りのない、引き取り手のない方が亡くなるケースが実際あります。その場合無縁仏という形で納めさせてもらっています。

今後は、社会福祉協議会とも話し合い、検討していきたいと考えています。

市民：運転免許の自主返納についてですが、先日、朝日新聞に大阪市での例が出ていました、その中で、自主返納者に商店街で利用できる割引券を渡すなど、商店会や商工会などの協力を得ていることなどが書かれていましたが、ぜひ、我孫子市でもバスの利用料だけでなく、参考にしてもらいたいと思います。

市長：我孫子市では、商業者や商工会からの協力は、市内のイベントに積極的に参加するなど、様々な事業を通して協力していただいているところです。バス以外の協力につきましては、検討していきたいと思います。

